



高松市議会 News 44 号 12月定例会 香川洋二 (獣医師・学芸員)

★生産年齢人口減少に悩む企業 高松市外国人労働者4,104人

我が国の人口構成は少子超高齢化。労働力不足解消は我が国の喫緊の課題。



政府はこの人手不足解消のため外国人労働者の在留資格を緩和する方向。香川県の技能実習生等外国人労働者総数は10422人(R2年12月末)。高松市では4,104名。雇用は製造業、卸売・小売業サービス業等。



新政同志会は海外労働者現状調査のため20年2月ベトナム人民共和国ハノイ市人材開発会社LODを視察。諸課題の意見交換。定例会では「新市民の外国人労働者に対する市民サービスの現状と

方向性」を質問。市長は「外国人労働者が安心して働ける環境づくりを推進。人口減少を抑制する対策を踏まえ第二期たかまつ創生総合戦略を進め持続可能なまちづくりをすすめる」と答弁。近年ベトナムからの技能実習生が多く、カトリック桜町教会でのクリスマスミサでは聖書朗読など一部ベトナム語による朗読を取り入れている。(左画像 LOD 研修教室/LOD 会長との意見交換)

★海外交流のキーワード「海」 St.pete・基隆/ヨットで交流

10月30日高松市と姉妹都市の米国フロリダ州セント・ピーターズバーグ市との姉妹都市提携60周年記念行事が高松市美術館で開催。クライスマン市長はビデオメッセージ参加。セント・ピーターズバーグ市の共通点は海に面した町。



瀬戸内海とメキシコ湾が両市をつなぐ。台湾基隆市も海に開かれた都市として交流提携。三市とも海に開けた町。ヨットを活用した国際交流を提案。市長は「本市は市内中心部にヨット競技場があり、ヨットの活用のキーワードに交流を深めるよう働きかける」と答弁。(画像 市営ヨット競技場)

★高松一高有権者期日前投票

主権者教育として松一高生の18歳選挙権有権者に対する期日前投票が行われた。報道によると3年生302人中有権者は149人、投票者は35人、投票率は23.5%。主権者教育の推進に今回の期日前投票の検討は不可欠として、教育委員会も分析するとしている。

★新政同志会 R4 予算要望

12月4日大西市長に対して令和4年度予算要望。国が進めるデジタル田園都市構想に下、都市と地方の格差解消。6大項目75小項目を要望。新規要望として「命の教育の充実」、豊かな文化を育み、心豊かな生活と人づくり中、教育委員会との協働による「動物ふれあい施設建設」他。

★令和4年消防出初式開催

1月9日令和3年高松市消防出初式が林町サンメッセで2年ぶり開催。消防団員や自主防災組織等1500名参加。式典後は屋外で、はしご車等約60台が行進後、一斉放水訓練れた。市議会建設消防常任委員会（香川委員長）の所管事務調査として「消防団の充実と強化」としており、委員の本年度末までに意見集約後提言する。消防団員の高齢化、地域社会・組織の弱体化は否めず、南海トラフ地震など自然災害の対応が急務。



★市民・一高生との意見交換会

高松市議会では議会改革の一環として市民及び高松第一高校生徒との意見交換会を実施している。意見交換会は4常任委員会の所管事務調査をテーマ。建設消防常任委員会（香川委員長）は前期の通り「消防団の充実と強化」市民との意見交換会は11月17日、一高生との意見交換は11月1日・11月22日2日間開催。参加者からは活発な意見・提言。市民との意見交換では参加の消防団員



等現場での所課題が提示された。市民との意見交換会では香川大学の危機管理専攻学生からは、災害の実体験から。学ぶことの重要性が語られ、一高生との意見交換では、消防団・団員に対する情報は皆無であることを知らされた。2回目の一高生意見交換では消防団員の着衣体験を行い、より理解を深めた。団員確保策ではメリットの明確化、情報発信力等が指摘され、特に防火少年団以降の中高性における部活動組織の導入が必要と思われる。

議会情報は [こちら](#) QR

